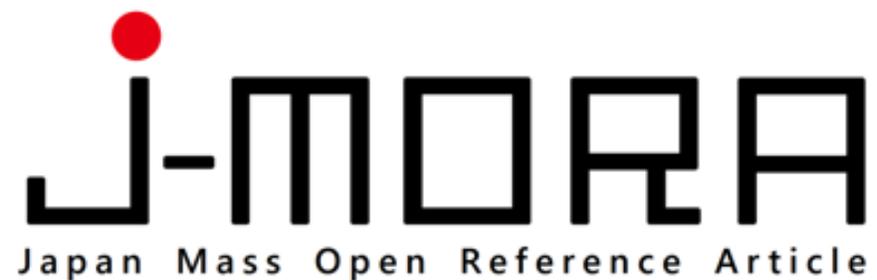


業界共通商品マスタ



リテールAI研究会

2024年8月更新



一般社団法人リテールAI研究会

- 急速に進展する流通のDX化。その中で、流通業界をテクノロジーで変革するために、あらゆる企業に開かれた場を提供し、流通業界のエコシステム実現を目指す団体です
「やりたいこと、一緒にやりましょう。」

設立：2017年5月

会員：合計233社

(正会員101社／流通25社／賛助107社)

- ・ **月次セミナー開催。** リテールDX界隈の情報発信
- ・ **リテールAI検定。** 最新のテクノロジーを現場で実践
- ・ **分科会活動。** 現場とテックのマッチング
「RETAIL BY GPT／リテールメディア／**J-MORA**」



J-MORA推進者

エンジニア

今村修一郎

- ・マイクロソフト認定システムエンジニアの資格を日本最年少で取得。
- ・大学卒業後P&Gジャパンにて、ビッグデータ分析や機械学習関連の開発に従事し、分析チームでは日本人初の管理職に昇進。
- ・2017年に一般社団法人リテールAI研究会に参加し、テクニカルアドバイザーとして、IT技術を駆使した小売流通業の改革に取り組む。
- ・2021年より今村商事株式会社の代表取締役役に就任。消費流通業界全体のデジタル化の推進を支援。



PM（プロジェクトマネージャー）

林拓人

- ・明治屋に入社。EOS/POSの開発を担当。後、九州では小売10社の営業に従事。三菱食品転籍後は経営企画で事業戦略/プロジェクトを歴任。
- ・2020年新設デジタル部門の初代営業DX推進室長となり、社内営業DXと得意先DXの全社プロジェクトリーダーを務める。
- ・2021年に一般社団法人リテールAI研究会に参加。商品統合マスタJ-MORAを推進中。
- ・同年今村商事入社。データ分析人財育成事業を立ち上げる。卸売業を中心とした消費財流通のビジネス面から流通DXを支援する。

一般社団法人リテールAI研究会

- 設 立：2017年5月（活動開始2017年7月）
- 住 所：東京都千代田区有楽町1丁目2-2東宝日比谷ビル9F
- 代表者：代表理事 田中雄策
- 会 員：正会員 101社 流通会員 25社 賛助会員107社

主な活動

- ①情報発信（月次セミナー・年次流通部会）
- ②技術開発（分科会・団体連携）
- ③人財育成（リテールAI検定・ハッカソン）



商品マスタとは

seq	項目	情報元	seq	項目	情報元	seq	項目	情報元
1	JANコード	製造業	27	終売日	製造業	53	アレルギーチキン	製造業
2	バラJANコード	製造業	28	消費税区分	製造業	54	アレルギーバナナ	製造業
3	旧JANコード	商品のコード	29	温度帯	製造業	55	アレルギー豚	製造業
4	ボールJANコード		30	原産国	製造業	56	アレルギー松茸	製造業
5	ケースJANコード		31	反映日	製造業	57	アレルギーモモ	製造業
6	品名漢字		製造業	32	アルコール度数	製造業	58	アレルギーヤマイモ
7	品名カナ	製造業	33	アレルギー卵	製造業	59	アレルギーリンゴ	製造業
8	分類	製造業	34	アレルギーミルク	製造業	60	アレルギーゼラチン	製造業
9	サイズ高さ	商品のサイズ	35	アレルギー小麦	製造業	61	画像	発売・終了日
10	サイズ幅		36	アレルギー蕎麦	製造業	62	発注開始日	
11	サイズ奥行		37	アレルギー落花生	製造業	63	発注終了日	
12	ケースサイズ高さ		38	アレルギーエビ	製造業	64	メーカー原価	製造業
13	ケースサイズ幅	製造業	39	アレルギーカ	製造業	65	メーカーリベート1	製造業
14	ケースサイズ奥行	製造業	40	アレルギーア	アレルギー	66	メーカーリ	価格
15	賞味期限	製造業	41	アレルギーア		67	メーカー値引	
16	規格	製造業	42	アレルギーイ		68	メーカー最終	
17	ブランド名	製造業	43	アレルギーイクラ		製造業	69	
18	メーカー名	製造業	44	アレルギーオレンジ	製造業	70	店頭売価	小売業
19	入り数	製造業	45	アレルギーカシュナッツ	製造業	71	採用店舗数	小売業
20	荷姿	商品の規格	46	アレルギーキウイ	製造業	72	店舗発注単位	小売業の 情報
21	ITFコード		47	アレルギー牛	製造業	73	小売発注単位	
22	商品重量		48	アレルギークルミ	製造業	74	店舗採用工	
23	ケース重量		製造業	49	アレルギーゴマ	製造業	75	
24	小売価格	製造業	50	アレルギーサーモン	製造業	76	小売展開場所	小売業
25	税率	製造業	51	アレルギーサバ	製造業	77	改廃情報	小売業
26	発売日	製造業	52	アレルギー大豆	製造業	78	マスタ反映有無	小売業



例

製造業の情報 = 68項目

卸売業の情報 = 1項目

小売業の情報 = 9項目

合計 = 78項目

※企業により異なる

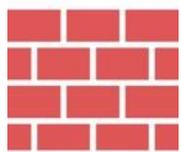
商品マスタの課題は2つ+1つで3つ



- SCM上の**プロセスの課題**（同じものを重複して登録している）

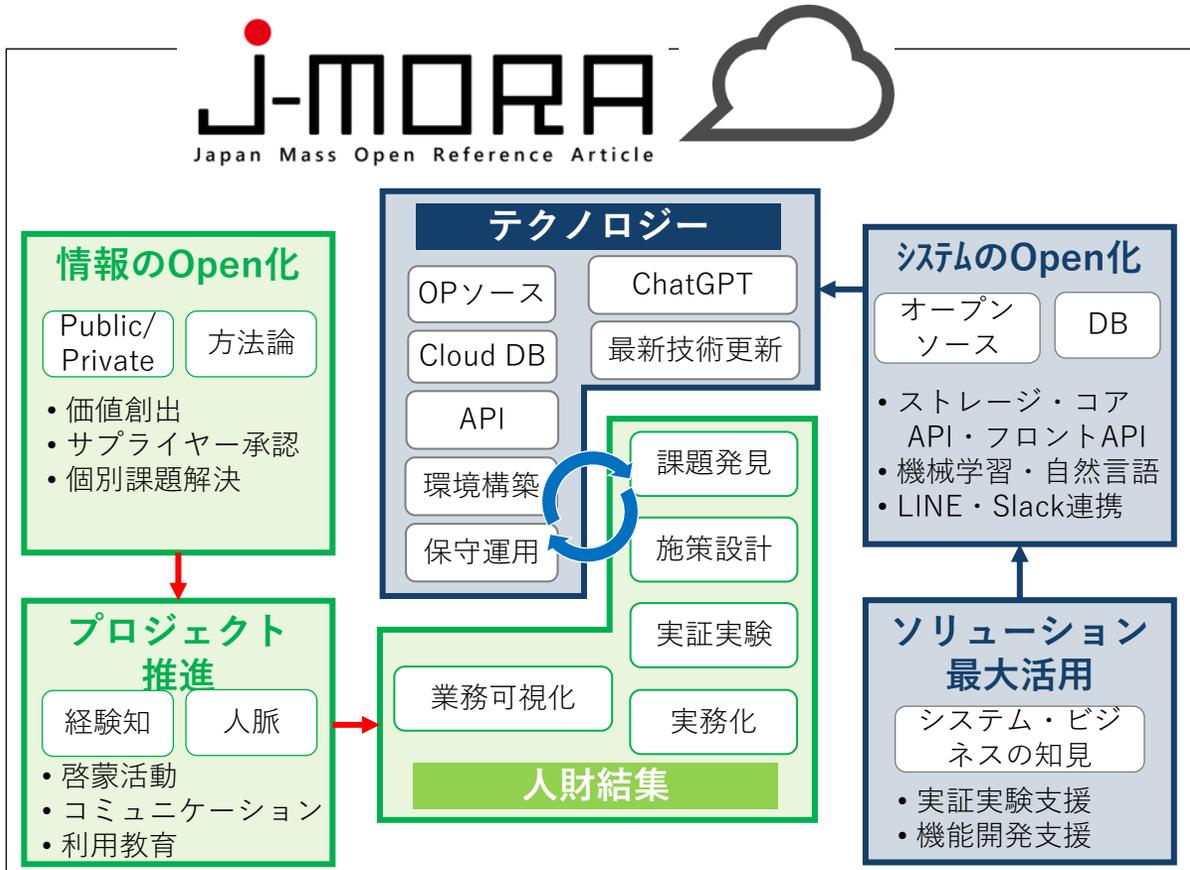


- 企業がそれぞれ保有する**商品マスタの課題**（商品マスタが汚い）



- わかってはいるけどやらない**企業や業態の壁**（インフラが邪魔）

J-MORAは業界共通商品マスタ



テクノロジー

- 機械学習・自然言語・生成AI・オープンソースを装備するクラウドデータベース
- 商品名やブランド名を自動生成。変換精度は97%を超える
- 多様なAPIによるシステム間の接続と、SlackやLINEによる手動登録にも対応

人財結集

- まずは業務の可視化と課題発見からスタート。ソリューションから検討はしない
- 同時にテクノロジーの勉強を行い、J-MORAで何を達成できるかを考え、レトロフィットする

分科会 「商品登録最適化PJ」

- **参画企業 開始時6社**

リテールAI研究会／今村商事株式会社／株式会社トライアル
カンパニー／コカ・コーラボトラーズジャパン(株)／旭食品
株式会社／ヤマエグループホールディングス株式会社

- **開始年月**

2022年10月

- **主要活動**

- ・ 月1回プロジェクトメンバーが集合
- ・ 議題に対して集中討議
- ・ テクノロジーの勉強会を実施
- ・ まずは飲料カテゴリから開始



記者発表で「決意表明」

- 2023年10月J-MORAによる「商品登録の最適化」ローンチ。記者発表会を開催し10社参加



2023年10月16日テレビ九州（報道番組）

流通業界の無駄減らせ

人工知能（AI）を使った小売業界の効率化を図る一般社団法人「リテールAI研究会」（東京）は16日、商品のサイズや価格、識別番号といった情報をAIで一元化するシステムの利用を始めたことを発表した。商品点数の多い食品や日用品での利用を主に想定しており、会員企業に無料でサービスを提供する。同じ商品でも扱う業者によって情報管理の様式が異なっていることが多く、業務やコストの削減につながる狙いだ。

トライアルなど共同プロジェクト

研究会で、コカ・コーラ、ポトラスジャパン（東京）やヤマエグループホールディングス（福岡市）、トライアルカンパニー（同市）といった製造、卸売、小売など5社による共同プロジェクト。同日から、ヤマエグループやトライアルはこのシステムを導入した。商品情報はこれまで、メーカーや卸売、小売業者がそれぞれの様式で扱ってきた。例えば食品であれば、一つの商品につき規格やアレルギー情報など数十項目の情報を管理する必要があったが、取引先に情報を登録する手間が発生して悪さが指摘されていた。今回のプロジェクトでは、各企業の商標情報のデータベースをAIが学習

価格など AI で情報一元管理

商品情報登録の仕組み

これまで
メーカーの商品
商品情報を登録
卸売A社
卸売B社
小売C社 小売D社
小売E社 小売F社
複数の登録様式が存在

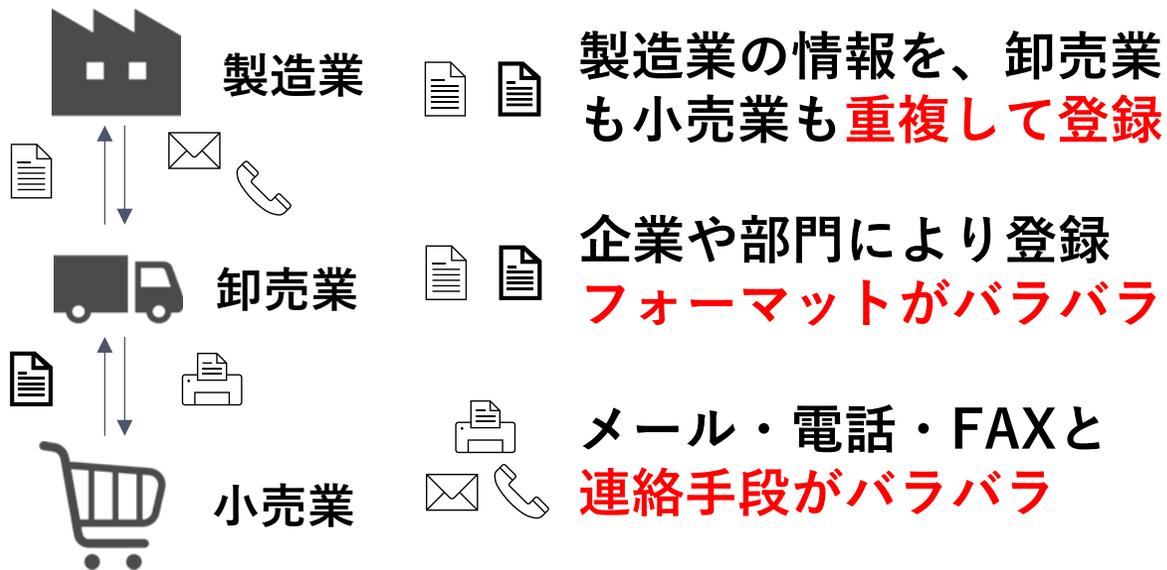
新たな共通システム
メーカーの商品
商品情報を登録
卸売A社
卸売B社
小売C社 小売D社
小売E社 小売F社
登録情報を一元化

し、どの企業も使えるように一元管理できる新システム「J-MORA（ジェイモラ）」を開発した。システムを利用した企業は10%程度の業務コスト削減が見込まれ、情報の入力ミスなども防げるという。研究会の林拓人理事は「流通業界の無駄を省く。値上げの抑制につながる消費者にもメリットになる」と説明する。新システムを効果的に運用するには多くの企業の利用が不可欠となる。トライアルカンパニーの牧草雄士執行役員は「取引先の数千人に、この1年間で参加してもらいたい」と話した。（横田理美）

2023年10月16日西日本新聞

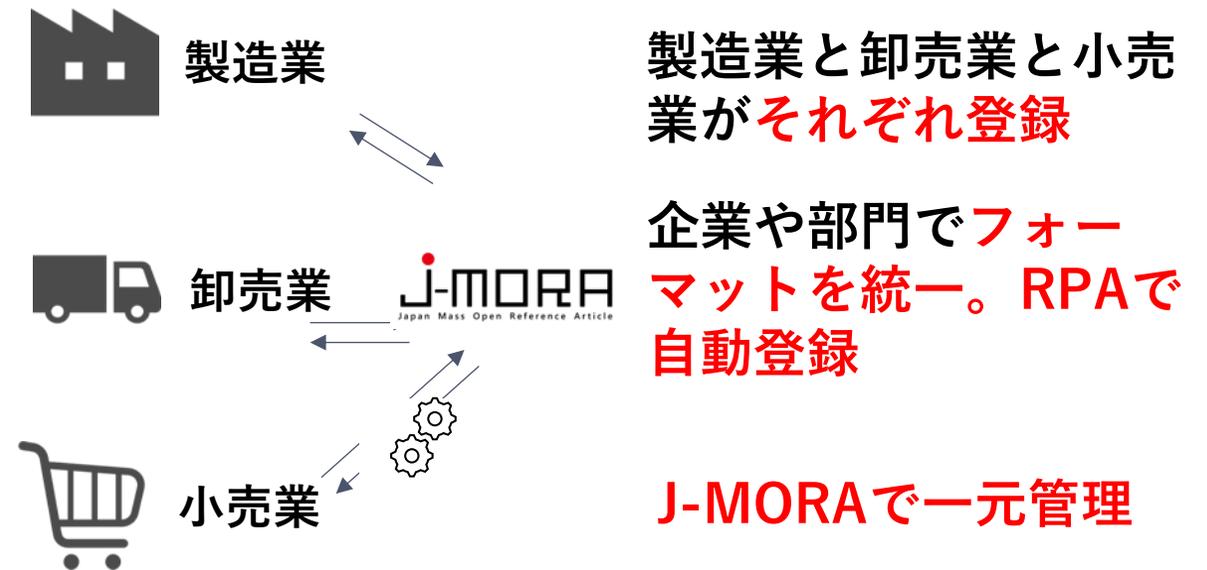
登録のプロセスを簡単にしていく

Before



人的コスト増、情報の属人化や品質の低下を招いている

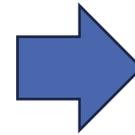
After (商品登録の最適化)



登録や確認による人的コストを改善。人の手を介さない分、品質の向上を目指す

商品項目の自動生成

label	name
null	長者原店 鮮魚 お造り 単品お造り 金目鯛刺身
null	長者原店 鮮魚 お造り 単品お造り アトランティックサーモン刺身
null	長者原店 鮮魚 お造り 刺身盛り合せ 刺身盛合せ (2点盛り)
null	長者原店 菓子 ポケット物 その他ポケッ オージーストロベリーゼリー
null	長者原店 精肉 鶏肉 鍋物煮物 佐賀産麓赤どりもも肉
null	長者原店 精肉 鶏肉 その他鶏肉 はかた一番どりほ肉
null	長者原店 精肉 豚肉 国産きなこ豚 国産きなこ豚0-スライス



label	name
惣菜	弥永店 惣菜 和え物・サラダ 和え物・サラダ マカロニサラダ
果実	弥永店 果実 (野田青果) 柑橘類 みかん 野田早生みかん
惣菜	弥永店 精肉(野田M) 鶏肉 その他鶏肉 鶏軟骨
鮮魚	弥永店 直営鮮魚 切り身 かわい子持ちかわい切身
惣菜	弥永店 惣菜 寿司 寿司 焼肉巻
惣菜	弥永店 惣菜 米飯 米飯 最強ののり弁 (うなぎ)
加工食品	弥永店 加工食品 その他加工食品 アジアンフード drv fruit mix

部門名がメンテ漏れの商品

商品名から部門名をAIが推測

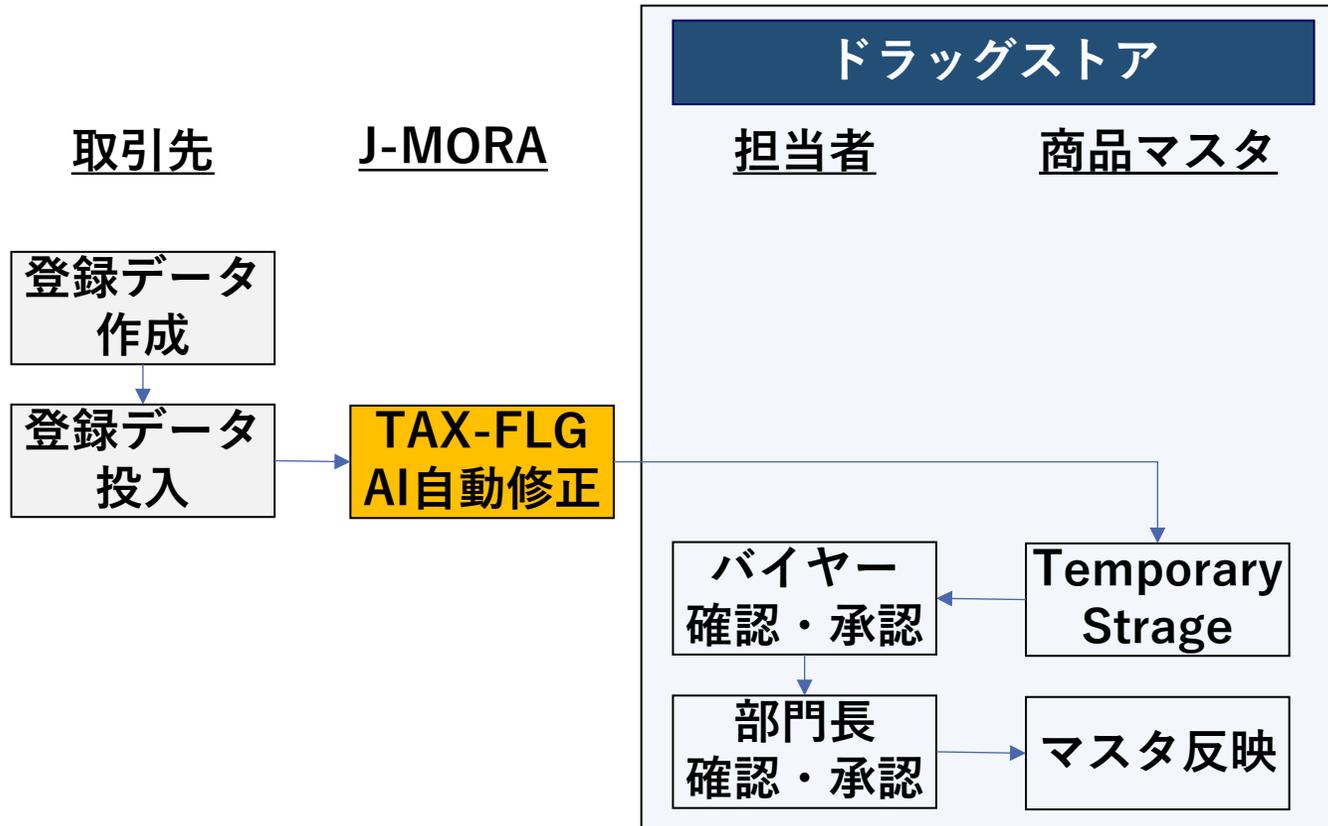
- 部門・ブランド名、また商品名等の自動生成が可能
- 空白の項目を自動生成したり、命名ルールを統一する
- 中規模小売業の事例。精度約97%ほどで実装済み

商品名の生成

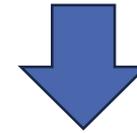
商品名	指示	AI生成短縮商品名	AI生成短縮商品名	AI生成短縮商品名
ハウス食品 印度カレー子監修スパイスカレーベース 150g	商品名が、ハウス食品 印度カレー子監修スパイスカレーベース 150gの短縮商品名を3つ考えてください。以下のルールに従ってください。短縮商品名においてメーカー名は必須であり、商品サイズも必須であり、文字数は20文字以内です。	ハウス印度カリースパイスカレーベース150g	ハウスカレー子スパイスベース150g	ハウスインドカリースパイスベース15
桃屋 さあさあ生七味とうがらし山椒はピリリ結構なお味 香味 55g	商品名が、桃屋 さあさあ生七味とうがらし山椒はピリリ結構なお味 香味 55gの短縮商品名を3つ考えてください。以下のルールに従ってください。短縮商品名においてメーカー名は必須であり、商品サイズも必須であり、文字数は20文字以内です。	桃屋生七味とうがらし山椒ピリリ 55g	桃屋ピリリ山椒 55g	桃屋香味七味 55g

- 企業ごとの命名ルールをプロンプトエンジニアリングすることで、短縮名候補を出します
- J-MORAに装備し自動化することも可能です。共通化した商品名も自動生成できます

分科会 「軽減税率自動修正PJ」



課題：消費税率の誤登録が発生しており、再発防止の対策が打ちたい



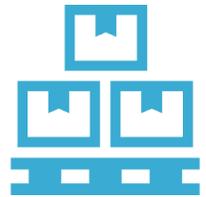
- 原因は、人的ミス。但し、チェックにも限界がある
- AI自動判定・ワーニングアラームで、誤登録を見つけ通報する
- あとは通常運用、システム改修無し

結果、なにが起きるか



- **営業の生産性向上。営業費約10%削減を期待します。**

登録業務、商品情報の問い合わせ・確認、修正業務の軽減です。効率化した時間で価値創造の仕事ができます



- **SCMの精度向上。**

商品情報の精度が上がることで受発注・物流の業務オペレーションが、改善を期待できます。（例えば商品サイズがJ-MORAに登録されていれば、倉庫で計り直す必要が無い）



- **企業の事業計画の打ち手となる。**

営業費や物流費の改善は、企業PLでも重要な指針となります。そして、重要なことは、売上や利益の向上の時間を作れることです

「最適化」から「全自動化」へ

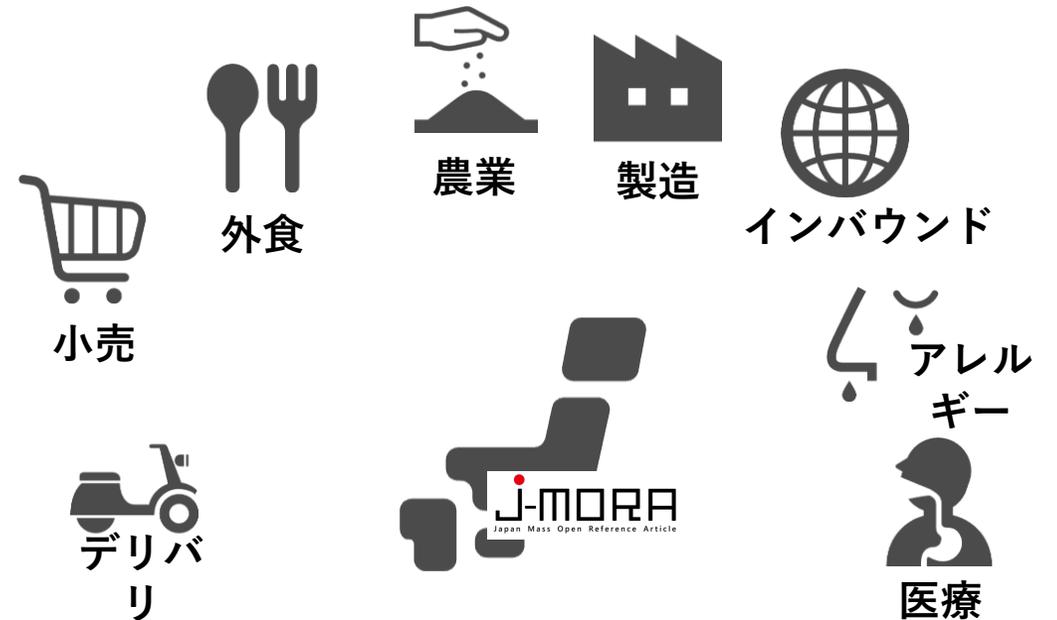
企業→エリアへ拡大



いまココ

1社からのスモールスタートです。
メディアの力もお借りして、仲間を増やします

商品登録の全自動化



J-MORAの「全自動化」が事例となり、
誰もが情報を活用できる世の中になる